

X線をあつめる

三村 秀和

(東京大学大学院工学系研究科)

X線により、小さいもの、少量のものを見るためには、X線を集めビームを小さくすることが必要です。光の反射、屈折、回折現象を利用するとX線を集めることができます。ほとんどのビームラインでX線集光素子は使われており、ユーザーも目にすることが多いでしょう。波長が短いため、極限的にはX線を数 nm のサイズにまで集めることが可能です。この講習会では、X線集光に関する基礎を学び、集光光学系の設計演習を行います。